

〈特定外来生物〉

オオバナミズキンバイ

の発見にご協力ください！

本種は繁殖力が非常に強く、水面を覆いつくすことで通水障害や農業被害を引き起こすおそれがあります。疑わしい植物を見つけた場合は、豊田市までご連絡ください。



缶コーヒーサイズの大きな花



水面に丸く艶がある葉を伸ばす

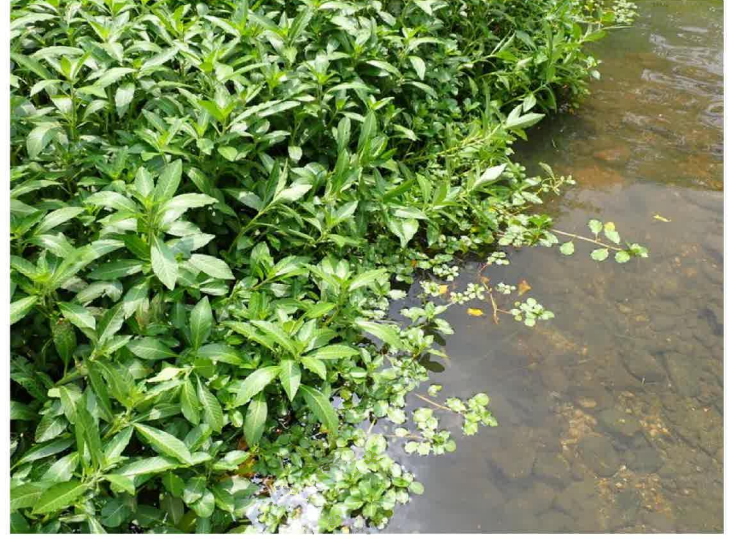
【注意！】

- ★ 栽培・保管・運搬が法律で禁止されています。持ち帰らないでください。
- ★ 葉や茎が流下すると、周囲に広がってしまいます。自身では駆除せず、下記連絡先までご連絡ください。

【連絡先】 豊田市 環境政策課 自然共生担当

電話：0565-34-6650 メール：kansei@city.toyota.aichi.jp

(写真) オオバナミズキンバイの生育状況



(参考) よく似た植物との見分け方

豊田市内には、オオバナミズキンバイによく似た「ヒレタゴボウ」が分布しています。見た目はよく似ていますが、花の大きさや花弁の数、茎に生えた毛の有無で見分けることができます。

オオバナミズキンバイ



直径3～5cm、花弁5枚

ヒレタゴボウ



直径2～3cm、花弁4枚

※この2種と同属の在来種「チョウジタデ」は、花が黄色で花弁は4～5枚ですが、花の直径が約1cmと小さいことで区別することができます。

オオバナミズキンバイ



茎に毛がある

ヒレタゴボウ



茎に毛がない

※オオバナミズキンバイの「陸生形」は、茎に毛がありますが、「浮葉形」は無毛であることに注意が必要です。